

# 令和４年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会 第１回若葉区役所部会議事録

１ 日時：令和４年８月４日（木） １４：００ ～ １５：３０

２ 場所：千葉市若葉区都賀コミュニティセンター ２階 講習室２・３

３ 出席者：

（１）委員

吉田 恵美 委員（部会長）、田部井 宏明 委員（副部会長）、秋元 稔 委員、  
関 寛之 委員、平井 敏一 委員

（２）事務局

齋木若葉区長、筒井地域づくり支援室長、西村主査、三ツ目主任主事、藤原主任主事

４ 議題：

- （１）部会長及び副部会長の選出について
- （２）令和３年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について  
ア 千葉市若葉区都賀コミュニティセンター
- （３）その他

５ 議事概要：

- （１）部会長及び副部会長の選出について  
委員の互選により、部会長に吉田委員、副部会長に田部井委員を選出した。
- （２）令和３年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について  
ア 千葉市若葉区都賀コミュニティセンター  
まず、令和３年度の「指定管理者評価シート」について施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、市の作成した評価案は妥当であると決定した。
- （３）その他  
議事録の公開について、事務局から説明した。

６ 会議経過：

○地域づくり支援室職員 皆様、本日はお集まりいただきましてありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまより、令和４年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第１回若葉区役所部会を開催いたします。

私は、本日、司会を務めさせていただきます、若葉区地域振興課の藤原と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議でございますが、市の情報公開条例第２５条に基づき公開されております。ただし、一部非公開の部分がございますので、あらかじめご承知おきください。

傍聴の方がいらっしゃいますが、傍聴人要領に記載されている事項の遵守をお願いいた

します。

それでは、委員の皆様のご紹介を、お名前の五十音順で行わせていただきます。

まず、若松中学校区町内自治会連絡協議会会長、秋元稔委員でございます。

続いて、株式会社ちばぎん総合研究所調査部長の関寛之委員でございます。

続きまして、弁護士の田部井宏明委員でございます。

続きまして、学校法人植草学園 学園事務局 内部監査室長の平井敏一委員でございます。

続きまして、公認会計士の吉田恵美委員でございます。

なお、田部井委員と平井委員におかれましては、若葉区役所部会においては今回、新任ということになりますので、それぞれお一言ずつご挨拶をいただけますと幸いです。

田部井委員からお願いいたします。

○田部井委員 私は、昨年从这个委員会の委員になりまして、本会では、副会長をさせていただいております。ほかの部会としては、吉田委員と同じ市民・文化部会、それから、稲毛区役所部会にも所属しております。どうぞよろしくお願いいたします。

○地域づくり支援室職員 続いて、平井委員、お願いいたします。

○平井委員 平井と申します。よろしくお願いいたします。

若葉区に住むようになって今年で35年目になります。その間ですけれども、県立高校の教員として、君津、市原、千葉、市川、それから茂原と、地区の高校を経験させていただきました。

千葉市では21年間所属しておりまして、そのうちの15年間、千城台高校で勤務しておりました。定年を迎えてからは、今ここに書かれております植草学園で5年目ということで、総務であるとか地域連携推進、そういったことを担当させていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

○地域づくり支援室職員 ありがとうございます。

続きまして、職員をご紹介いたします。

若葉区長の齋木でございます。

続きまして、地域づくり支援室職員ですが、地域づくり支援室長の筒井でございます。

西村主査です。

続きまして、主任主事の三ツ目でございます。

あらためて、藤原でございますので、よろしくお願いいたします。

それでは、開会に当たりまして、区長の齋木からご挨拶を申し上げます。

○齋木若葉区長 改めまして、皆さん、こんにちは。昨年度、就任しました区長の齋木です。よろしくお願いいたします。

本日は、お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。今朝はすごい雨で、先ほどまで降っていたのですが、雨も上がって気温も下がったので、皆様にご足労いただくにはちょうどいいかなと思っていたところです。

さて、この若葉区の都賀コミュニティセンターですけれども、指定管理者が昨年度、アクティオ株式会社から株式会社マリンスタジアムに変更になりましたので、昨年は開催せ

ず、今年度、第1回ということで開催をしているものであります。どこのコミュニティセンターの指定管理者様も、長引くコロナ禍ということで、管理運営、大変厳しい状況ということをお伺っております。そうした中でも、この評価委員会で、どのようにしたら合理的な事業ができるのかですとか、管理体制をしっかりとできるのかという視点で、今後よりよいコミュニティセンターの活動ができるような視点でご審議をいただきたいと思います。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

○地域づくり支援室職員      ありがとうございます。

それでは、まず議事に入ります前に、先に資料の確認をさせていただければと思います。

机上に配付しております「次第」、2枚目が「席次表」、それと「諮問書」、あとは「委員の皆様から事前に提出のあった質問及びその回答」でございます。

次に、青いファイル、こちらをお開きいただきまして、資料1「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会 第1回若葉区役所部会進行表」です。一番下にあるように、本日は15時40分の終了を予定しております。

資料2は「若葉区役所部会委員名簿」、それと資料3-1から3-6までは都賀コミュニティセンター令和3年度評価に関する資料でございますが、3-1「指定管理者年度評価シート（案）」、3-2「指定管理者年度評価シート補足資料」、3-3「指定管理者モニタリングレポート」、3-4「事業計画書」、3-5「事業報告書」、3-6「指定管理者計算書類」ということで、過去3期分の決算関連書類を添付してございます。

続いて、参考資料1「千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例」、それから参考資料2「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等について」、参考資料3「部会の設置について」、参考資料4「若葉区役所部会で審議する公の施設一覧」、参考資料5「情報公開条例・施行規則 抜粋」、参考資料6「評価の目安（年度評価シート）」、参考資料7「都賀コミュニティセンターの令和2年度から遡って平成30年度まで過去3年間の指定管理者年度評価シート」、参考資料8が「過去の都賀コミュニティセンターに関する市民局指定管理者選定評価委員会の意見等」でございます。

以上お配りしておりますが、何か過不足等ございませんでしょうか。何かありましたら、お声がけいただければと思います。

続きまして、会議の成立についてご報告いたします。

本日、全委員の出席をいただいておりますので、「千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第11条第7項において準用する第10条第2項」に基づきまして、会議は成立しておりますことをご報告申し上げます。

それでは、これより議事に入らせていただきます。

まず、議題「（1）部会長及び副部会長の選出について」でございます。

先ほど、齋木区長から申し上げましたとおり、この若葉区役所部会ですが、令和3年度から都賀コミュニティセンターの指定管理者が変更となったため、令和3年度中はこの若葉区役所部会を開催しておりません。本日が委員の皆様の改選後初めての開催となります。したがって、他の区役所部会とは異なり、部会長、副部会長がまだ決まっておりますので、本日、委員の皆様の互選により決定していただきたいと存じます。

なお、部会長が決定するまでの間、齋木若葉区長が仮議長を務めさせていただきたいと

存じますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○地域づくり支援室職員　それでは、齋木区長、よろしくお願いいたします。

○齋木若葉区長　それでは、ご承認をいただきましたので、部会長が決定しますまで仮議長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、議題１の「部会長及び副部会長の選出について」です。

部会長の役割としましては、本部会の議長を務めていただくほか、部会の招集、議事録の承認等、部会を代表していただきます。

副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるときはその職務を代理していただきます。

では、まず部会長の選出を行いたいと思います。「千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第１１条第４項」に基づきまして、互選により選出したいと思います。どなたか立候補、または推薦される方はいらっしゃいますでしょうか。

○秋元委員　部会長に吉田委員を推薦したいと思います。

○齋木若葉区長　ただいま、吉田委員を部会長にという推薦をいただきましたが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○齋木若葉区長　では、ほかにご意見がないようですので、吉田委員を部会長に決定したいと思います。

それでは、吉田委員、部会長席へご移動ください。

ここで、部会長から一言ご挨拶をいただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○吉田部会長　着座で失礼いたします。

ただいま部会長に選出いただきました吉田でございます。こちらの部会では副部会長を今まで務めさせていただいてまいりましたが、今回、部会長ということで、皆様のご協力を得ながら進めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○地域づくり支援室職員　ありがとうございました。

ここで、仮議長を務めました齋木区長においては、この後、公務が入っておりますので、恐れ入りますが、ここで退席させていただきます。

○齋木若葉区長　それでは、ご審議のほど、どうぞよろしくお願いいたします。失礼します。

[齋木若葉区長　退席]

○地域づくり支援室職員　それでは、改めて吉田部会長に進行をお願いできればと存じます。お願いします。

○吉田部会長　それでは、次第に従いまして議事を進行してまいります。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

続きまして、副部会長の選出を行いたいと思います。

こちら互選により選出することとされておりますが、どなたか立候補、または推薦される方はいらっしゃいますでしょうか。

はい、秋元委員、よろしくお願いいたします。

○秋元委員　副部会長に田部井委員を推薦したいと思います。

○吉田部会長　ただいま、田部井委員を副部会長にとのご推薦をいただきましたが、皆様いかがでしょうか。

(なし)

○吉田部会長　ほかにご意見がないようですので、田部井委員を副部会長に決定してよろしいでしょうか。

(異議なし)

○吉田部会長　では、田部井委員に副部会長をお願いいたします。

田部井副部会長から一言ご挨拶をいただけますでしょうか。

○田部井委員　今ほど選任いただきました。部会長を補佐して、一生懸命やりたいと思います。よろしくお願いいたします。

○吉田部会長　ありがとうございました。

続きまして、議題2の「令和3年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について」に入らせていただきます。

まず、「年度評価」の概要について、事務局から説明をお願いいたします。

○地域づくり支援室職員　それでは、指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価の概要についてご説明いたします。

まず、この年度評価でございますけれども、1年間の指定管理者による管理運営を評価し、現指定期間における管理運営の改善につなげることを目的といたします。そのため、本日のように選定評価委員会を開催しまして、委員の皆様からご意見をいただく機会を設け、次年度以降の管理運営をより適正に行うために実施するものでございます。

次に、評価の方法でございますが、まず、千葉市が現地視察・ヒアリング等を通じて行った年2回のモニタリングの結果や、指定管理者による自己評価、指定管理者からの報告書などを踏まえ、「指定管理者年度評価シート案」、今回の資料でいいますと資料3-1、に当たりますけれども、こちらを作成いたします。この市で作成した「年度評価シート案」と、指定管理者から提出された「事業報告書」、それから直近3年分の「計算書類」などの資料を基に、この選定評価委員会におきまして、「市の評価の妥当性」や、指定管理者による「施設管理運営のサービス水準向上・業務効率化の方策」や「改善を要する点」、また、指定管理者の倒産、撤退等のリスクを把握するため、当該指定管理者の「財務状況」などに関するご意見をいただきます。最終的に、そのご意見等の中から部会としての意見を取りまとめていただきまして、それを部会長から選定評価委員会会長にご報告いただいた後、委員会会長から市に対し答申をいただきます。

答申でいただきましたご意見は、年度評価シートの一番後ろに「市民局指定管理者選定評価委員会の意見」という欄がございますが、こちらに記載いたします。

そして、評価の結果につきましては、指定管理者による管理運営の改善・効率化に向けた取組みを促進するため、当該指定管理者に通知するとともに、選定評価委員会のご意見を記載した「年度評価シート」を市のホームページ上で公開いたします。

年度評価の概要については以上でございます。

○吉田部会長　ただいまの事務局からの説明について、何かご質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(なし)

○吉田部会長　それでは、「千葉市若葉区都賀コミュニティセンター」の年度評価を行います。

事務局も着座のままでご説明をお願いできればと思います。

○地域づくり支援室職員　それでは、引き続き、私から詳細について説明させていただきます。

まず、今回の若葉区役所部会の審議の対象となる施設ですが、お手元のファイルの参考資料4「若葉区役所部会で審議する公の施設一覧」をご覧ください。

若葉区内にはこちらの都賀と、千城台の2つのコミュニティセンターがございますが、千城台コミュニティセンターについては文化施設と一括で指定管理者制度を導入していますことから、市民・文化部会にて審議を行います。そのため、本日の審議対象はこの都賀コミュニティセンターのみとなっております。

それでは、都賀コミュニティセンターの指定管理者による「令和3年度の施設の管理に係る年度評価」についてご説明いたします。

まず、本題に入ります前に、今回、市が行った評価に係る資料を複数お示ししておりますが、「その資料同士の関係性」と、「市によって行った評価の根拠」につきまして説明をいたします。

評価に関しましてメインとなる資料は、資料3-1「指定管理者年度評価シート（案）」となっております。3-1の6ページをお開きください。

6ページ、「(3) 管理運営の履行状況」という表がございます。こちら中央の列ですが、それでも、「市の評価」と書かれた部分をご覧くださいますと、「C」が7つ並んでおります。ここではすべて「C」ですが、このアルファベットの「B」ですとか「C」といった評価を決定するための根拠となる資料が、その次の資料3-2「指定管理者年度評価シート補足資料」でございます。A3の紙です。

こちらをお開きいただきまして、中央からやや右側の列に「年度評価」、その下段に「(3) 管理運営の履行状況」、さらにその下の段に「市の評価」と書かれた部分がございますが、そこに記された評価、すなわちすべて「C」なのですけれども、そちらを「資料3-1」に転記したものでございます。

この「資料3-2」の評価ですが、こちらは市が年に2回実施している、資料3-3「指定管理者モニタリングレポート」を基に作成しております。具体的には、この「モニタリングレポート」の右端の列、「確認結果」ですとか、中央に「基準 プラス評価」と記された列に「○」ですとか「◎」がところどころ記入されておりますけれども、こちらを資料3-2「補足資料」の所定欄に転記をしていきます。

一旦ここで参考資料6「評価の目安」をご覧ください。

「①各モニタリング項目の年間の点数の算出」にございます、点数の基準に基づき、大項目ごとの「年間の点数の平均値」をまず算定いたします。この年間の点数の平均値が、「②平均値の算出」にある評価の「A」から「E」のどれに該当するかを確認しまして、該当する評価をつけているということでございます。今回の結果として「C」が7つという結果となっております。

資料3-1にお戻りいただきまして、6ページですが、今ご説明した内容を1枚にまとめた状態がこちらのページということでございます。

それでは、資料３－１「年度評価シート（案）」について、やや詳細にご説明させていただきます。

１ページをご覧ください。

「１ 公の施設の基本情報」については、記載のとおりでございます。

なお、成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものです。

続いて、「２ 指定管理者の基本情報」ですが、現在この都賀コミュニティセンターの指定管理者は株式会社千葉マリスタジアムです。指定期間は令和３年４月１日から令和８年３月３１日までの５年間となっております。

なお、平成１８年度から令和２年度まで、指定管理者はアクティオ株式会社でございましたが、令和３年度より株式会社千葉マリスタジアムに管理者が替わりまして、今回初めての年度評価となっております。

２ページをご覧ください。

「３ 管理運営の成果・実績」の「（１）成果指標に係る数値目標の達成状況」につきましては、記載のとおりでございます。

なお、※に記載があるところですが、数値目標は指定管理者を選定した当初に設定した数値でありまして、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が自ら設定している場合、市が設定する数値は括弧書きで表示しております。都賀コミュニティセンターの場合は、諸室稼働率とスポーツ施設利用者数の双方におきまして、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している状況でございます。

その下、「（２）その他利用状況を示す指標」につきましては、幼児室・静養室・サニールームの利用者数を記載いたしました。また、コミュニティまつりですが、新型コロナウイルスの影響により令和３年度は中止となったことから、参加者は０人と記載しております。

次に、「４ 収支状況」でございます。

「（１）必須業務収支状況」の、まず収入について申し上げます。

指定管理料の実績は計画に比べ５２万３千円減額となっておりますが、これは新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、市の指示により施設の利用時間等の制限を行った結果生じた、人件費、光熱水費など管理運営費の不用額と、コミュニティまつりが中止となり代替事業を実施した経費の精算額が戻入れとなったものでございます。

なお、利用料金収入については、令和３年度の実績とコロナ禍以前の実績とを比較しますと、令和３年度はコロナ禍以前の実績を上回る収入があったことから市からの補填は行っておりません。

利用料金収入についても、計画より１１７万８千円の減額となりました。こちらは諸室の稼働率が計画を下回ったためでありまして、やはり新型コロナウイルスの影響によるものと考えております。

その他収入は、コピーサービスの利用収入でございます。

次に、３ページをご覧ください。支出について申し上げます。

まず人件費ですが、計画より５２万円の増額となりました。一部直営による業務対応を行ったことなどによるものでございます。

事務費・管理費は、計画より１１３万３千円の増となりました。令和３年度より千葉マ

リンスタジアムが管理を開始するに当たりまして、必要となった初期費用が見込みを上回ったためです。

委託費についてですが、計画より603万円減額となりました。再委託業者を集約したことによる経費の縮減、一部直営により業務を実施したためでございます。

その他事業費、それから間接費は、計画とほぼ同額となっております。

続いて、4ページをご覧ください。

「(2) 自主事業収支状況」、「(3) 収支状況」につきましてはご覧のとおりでございますが、自主事業の収入額、支出額はともに令和2年度に比べて大幅に増えております。令和2年度と指定管理者が異なりますので単純に比較することはできませんけれども、令和3年度は感染対策をしつつ、実施できる自主事業を工夫しながら行ったことが要因であると考えております。

結果としまして、必須業務と自主事業を合わせた令和3年度の収支は、191万6千円のプラスとなりました。なお、指定管理者からの利益の還元はありませんでした。

次に、5ページの「5 管理運営状況の評価」をご覧ください。

「(1) 管理運営による成果・実績(成果指標の目標達成状況)」でございますが、諸室の稼働率については、市設定の指定管理期間最終年度の数値目標に対する達成率が85.8%でした。また、指定管理者が設定した令和3年度の数値目標に対する達成率が83.0%であったことから、「C」評価といたしました。評価の目安は、その下に点線で囲まれているところでございます。

スポーツ施設の利用者数については、市設定の指定管理期間最終年度の数値目標に対する達成率は106.9%でした。また、指定管理者設定の令和3年度の数値目標に対する達成率が104.3%と、いずれも目標を上回ったことから、「B」評価といたしました。

次に、「(2) 市の施設管理経費縮減への寄与」についてですが、指定管理料が選定時の提案額とほぼ同額であったことから「C」評価といたしました。

めくっていただきまして、6ページ、「(3) 管理運営の履行状況」になりますが、こちらは先ほど冒頭にご説明したところでございますが、市の評価は、すべての項目について、おおむね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われたとしまして、「C」評価といたしました。

市の評価については、資料3-3「モニタリングレポート」の結果を点数化し、算出しております。その点数の結果は、資料3-2「年度評価シート補足資料」に記載のとおりでございます。

次に、7ページをご覧ください。

まず、「(4) 市民局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応」でございます。

前提としまして、こちらに記載の意見の内容ですが、こちら令和2年度の管理運営の改善・向上のため、前の指定管理者に対して提出されたものでございますが、現指定管理者が前指定管理期間における課題に対してどのような対応・改善に取り組んだかを参考に記載してございます。意見の内容と対応・改善の内容については、ご覧のとおりでございます。

その下、「6 利用者ニーズ・満足度等の把握」についてです。

こちらについてですが、記載内容に一部不足がございましたので、皆様に事前にお送り



した資料から内容を一部修正しております。

まず、「共通満足度調査」、1月に実施しておりますが、こちらは全コミュニティセンターが共通の調査項目で行ったアンケートになっております。

都賀コミュニティセンターの利用者層としては、若葉区内に在住の方、それから60歳以上の方が多く、定期的に利用される方が多いとの結果でした。

施設使用の満足度として、「大変満足」と「満足」を合わせた割合は、おおむね6割から7割程度となっております。

次に、「随時調査」ですけれども、こちらは事前にお配りした資料では「令和3年度第2回」と記載していた箇所を修正したものでございます。こちらの内容につきまして、事前にご質問をいただいておりますので、併せてお手元に配付しております「事前質問に対する回答様式」をご覧ください。

1つ目のご質問ですが、アンケートの実施方法について、他のコミュニティセンターでは、市共通の調査以外にも年度の中間時期に独自のアンケートを行っている一方、都賀コミュニティセンターでは3月に行った絵本の読み聞かせだけのようである、株式会社千葉マリスタジアムが管理するほかの施設での実施方法は同様なのかというような趣旨のご質問でございました。

こちらにつきまして、「管理運営の基準」において、アンケートなどを年2回以上実施することとしております。同指定管理者においては、1月に全市統一で実施するアンケート調査と、もう1回は、大規模なアンケート調査を実施するのではなく、受託事業や自主事業などの実施時等の機会をとらえ複数回アンケート調査を実施しており、同社の管理する他施設、すなわち高洲、真砂、鎌取コミュニティセンターも同様の実施方法となっております。

なお、評価シートの記載内容については、そのうちの1つしか記載しておらず、記載内容としては適切ではございませんでしたので、「2回目」の記載内容を差し替えさせていただきました。

この随時調査の結果ですけれども、絵本の読み聞かせでは19件の回答をいただき、「とても満足」が17件、「満足」が2件と、おおむね高評価をいただいております。また、自主事業では9つの講座で合計103件の回答をいただきまして、こちらもおおむね高い評価をいただいております。

資料3-1に戻っていただきまして、8ページをご覧ください。

「(2)市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応」についてですが、主に備品を含む設備面のご意見が寄せられております。指定管理者が行った対応は記載のとおりでございます。

最後に、「7 総括」でございます。

「(1)指定管理者による自己評価」は「C」評価でございました。理由としまして、新型コロナウイルス感染症の影響による利用時間・人数制限があり、当初計画していたとおりの実績を上げることができなかった。当センターの管理初年度に当たり、利用者に不便をかけることのないようスムーズな移行を心がけ、前指定管理者のやり方を踏襲する部分も多々あったが、自主事業においては、提案書にのっとり数々の事業、計画では45事業でしたけれども、55事業を実施しております。こちらを行い、当社の特色を大いに

すことができた。このような実績を鑑み、コロナ禍において施設でクラスターを出すことなく、利用者に安全・安心にご利用をいただけたことは評価できるという自己評価でございました。

最後に、「市による評価」でございますが、同じく「C」評価といたしました。

こちらは、5ページ、6ページでございます「管理運営状況の評価」のうち、(1)から(3)における評価項目の「市の評価」の内容をもって総括して評価したものでございます。どういうことかといいますと、「参考資料6」をご覧いただきたいのですが、こちらの裏面、2ページをご覧ください。全10項目ございまして、「B」が1つ、「C」が9つであったことから、これが「C」評価、すなわち「評価項目の「D」が20%以下で、かつ「E」がない」に該当することから、こちらの評価としております。

また、所見としましては、3期にわたり管理を務めた前指定管理者から初の指定管理者変更となったが、他の施設の管理実績等を活かし、うまく引継ぎを行い、おおむね大きな混乱もなく初年度を終えた。依然として新型コロナウイルスの影響があり、感染拡大防止のため、開館時間短縮や利用目的制限等の市からの指示に対して迅速かつ丁寧な対応により、利用者への周知、理解を得ることに努めた。感染症対策を行った上で、指定管理者の独自色を出しつつ、絵本の読み聞かせや各種自主事業を積極的に展開し、新規利用者の開拓に努めた。スポーツ施設利用者数は、既に設定目標を上回る実績となった。諸室稼働率については、コロナの影響もあり依然として目標を下回っているが、稼働率が低い要因の分析と対応策を検討・実施し、引き続き改善に努めていただきたいと評価したものでございます。

大変長くなりましたが、説明は以上でございます。ありがとうございました。

○吉田部会長　ただいま事務局から一通り説明をいただき、「都賀コミュニティセンター」の令和3年度評価につきまして「評価案」が示されましたが、はじめに、この市当局の作成した評価の妥当性について、及び、指定管理者の施設のサービス水準向上、業務効率化の方策、また、改善を要する点等について、委員の皆様から意見をお聞きしたいと思います。ご質問も含めて、何かございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

では、お願いします。

○関委員　こちらの2つの成果指標などを見ると、前任の指定管理者から速やかに引継ぎを行って、また徐々に独自色も出していらっしゃるようで、全体としては経営は上向きかなと感じました。

もともと、この諸室稼働率は水準がもともと低くて、かつ、目標未達に終わっております。今後の課題かなと認識しております。コロナ禍ということで仕方がない部分もあるかと思いますが、アフターコロナを展望すると、今後の課題として諸室の稼働率を上げるためにどうしたらいいかということについてご意見を申し上げたいと思います。

一つは、情報発信の高度化というか、今、国がデジタル化と、今年6兆円ぐらいの予算をつけてやっていますけど、デジタル化による情報発信の高度化が必要かなと思います。

千葉市のコミュニティセンター全体に言えることかもしれませんが、市民に情報を伝えたつもりになっているのですが、重要な情報が伝わっていない可能性があるのかなと思います。例えば今回の報告で、自主事業の事業報告、これを見ると、45事業の予定だったのが55事業になっていて、内容を見ても多種多様で面白い自主事業をやっている

しゃいます。

一方で、自主事業の収支決算を見ると、収入が約70万円、当初見込んでいた予算の3割ぐらいということで水準が低い。つまり魅力的な自主事業を行っていらっしゃるのに、参加者が伸びていないということになります。その背景に、市民が欲しい情報が市民に適切に届いていない可能性があるのかなという問題意識です。

ホームページに掲載していらっしゃる自主事業のチラシを見ますと、多分同じ方が作っていらっしゃるの画面一面的なのですが、日時や会場、参加費など、基礎的な情報しか書いていないものがほとんどです。市民が欲しい情報は、もっと学べる内容とか、期待できる効果とか、踏み込んだものも欲しいはずなのですね。例えば、タイの健康法の「ルーシーダットン講座」と面白い講座をやっているんですけど、このチラシに「空気を鼻から吸って、止め、口から吐きます。」と書いてあります。よく分からないので、ルーシーダットン普及連盟のホームページを見てみると、「独自の呼吸法と、身体を気持ちよく動かすことで、凝り固まった身体がほぐれて、全身の血のめぐりが良くなる」、これがルーシーダットンだと。そういうふうにチラシに書いておけば、おそらく参加する方も増えたのではないかなと思いますし、また、講師についても肩書しか書いていないので、講師の専門性に関する記述とか、もしくは講師の顔写真なども貼り付けると、より親しみが湧くのではないかなと思います。

ちなみにピラティスの先生は、どんな方かなと思ってインターネットで調べてみたら、すごく若い、明るそうな女性の講師の方で、その方の専門性もすごく高いというのわかりまして。そういうことであれば、こういう先生に習ってみたいという市民の方は性別問わず増えるのではないかなと思います。

それと、都賀コミュニティセンターのホームページを見ると、サークル一覧表のPDFが貼り付けてあるのですが、やはりこれも基礎情報しかなくて、連絡先の記載もないのですね。「各サークルの詳細はセンター1階ロビーに掲示してあります」と記載があって、非常にアナログな対応なのですけれども。おそらく気になるサークルがあっても、わざわざこちらに来てまで情報を見に行く人はレアなケースだろうと考えますと、ホームページからサークル参加者を増やすことは期待できないつくりになっているのではないかなと思います。

ほかのコミュニティセンターはどうかなと思って見てみたのですけれども、おしなべて同じような対応でして。唯一、花見川区の畑コミュニティセンターの対応が手本になるかなと思いました。こちらにはサークルの一覧表に代表者と代表者の電話番号が記載してありまして、不明な点は問合せができると。この点は個人情報保護もあるので出たくないという代表者の方もいらっしゃると思うのですけれども、そういう場合はコミュニティセンターを介して代表者に連絡も可能と記されております。サークルの紹介を写真入りでされていて、例えば、子どものジャズダンスサークル、元気に踊る子どもの写真が貼り付けてあって。個人情報保護の関係で子どもの顔がハートマークになっているのですけれども、十分楽しい雰囲気は伝わってくるので、サークルに子どもを入れたという親のモチベーションにはなり得るかなと思いました。

コミュニティセンターの情報発信をアフターコロナに向けて改善していくためには、おそらく指定管理者だけに任せておいても、なかなか難しい部分もあると思うので、今、行

政のデジタル化というのがすごく話題になっておりますが、指定管理者と千葉市が連携して、早急に着手する必要性を感じているというところです。とりあえずその畑コミュニティセンターはそういう形でやっているの、それを水平展開するだけでもかなり違ってくるのかなと思いました。情報発信を改善することから始めてみたらどうかという意見でございました。

以上です。

○吉田部会長      ありがとうございました。

事務局から何かありますか。

○筒井地域づくり支援室長      まさに現指定管理者のホームページに関しましては、前とガラッとイメージは変わったのですけれども、課題だなと感じていたところでありました。アフターコロナとおっしゃっていましたが、今後は、情報発信のデジタル化というのが高齢者の方も含めて大事になってくると思っております。市も一緒に連携してやっていきたいと感じていたところでもございました。

○吉田部会長      今拝見しても、がらんとした写真が大きく出ていて、やってみようという動機づけになりづらい感じですね。旧世代のホームページの雰囲気というか。関委員が仰る通り、確かに畑コミュニティセンターは、すごく楽しそうなサークル活動の雰囲気が伝わってきますね。

○筒井地域づくり支援室長      せっかくいい自主企画事業をやっていると思っているので、本当にPRが大事だろうなと思っています。

○吉田部会長      PDFの貼り付けは、やはり見づらいところもあるので、その工夫というのが必要なと思います。

サークルについては、個人のご連絡先を書くには、ご同意いただかないと難しいかもしれないですが、そこも含めてホームページの改善ということを、部会からの意見とさせていただきますと思います。

○筒井地域づくり支援室長      ありがとうございます。

○吉田部会長      では、私からいいですか。アクティオさんが長く管理されていて、管理者を変えてどうなのかなと思って、参考資料7の平成30年度と見比べさせていただくと、コロナの影響がなく1年間開けられていたのに諸室稼働率は33.4%しかなかった、スポーツ施設利用者数も1万7,739人とどまっていたという状況から、このコロナでかなり厳しい状態であったにもかかわらず、前指定管理者の数値から比べると十分に上向きの数値となっている。確かに目標には達してはいないものの、これに関しては千葉市のほかのコミュニティセンターもコロナの影響で厳しい状況が続いているので、厳密に言うほどではないのかなと。資料3-1の8ページ、総括の所見で、稼働率については目標未達として書きぶりが厳し過ぎるので、長年担当していた前指定管理者からの変更がある中、目標には達してはいないものの、コロナの対応をしつつ稼働率が上向きになったと評価し、指定管理者のやる気を削がないのがよろしいのではないかなと感じました。

スポーツ施設利用者数については、あっさり2万人を達成していて、ここまで大きく上がったことについて、事務局としてはどのように分析されていらっしゃいますか。

○筒井地域づくり支援室長      この数値に関しまして私たちも驚いたところでありまして、もう既に5年後の目標を達成してしまうというところになります。指定管理者にも要因

などを聞いたのですけれども、特段に特別な取組みをしたわけではないという話でございました。

ただ、穴川のコミュニティセンターが今改修中で、千葉公園体育館も3年度は使えない状況になっていたので、そういったことで利用者がこちらに流れてきたという可能性は考えられるということでございました。

○吉田部会長　先ほど体育館を拝見しても、若い世代も熱心に活動されていました。コミュニティセンターはどちらかというと上の世代の方がメインの利用者となりますが、若い世代にもしっかりと情報が届いて、ご利用いただけているのかなと思います。その要因の一つとして、自主事業でいろいろな方に足を運んでいただいて、こういった施設を使えるよと、そういったアナウンス効果もあるのかなと。選定時に指定管理者を変えることの不安も委員たちにはあったかと思いますが、変えていい結果が出てきてほっとしています。

秋元委員、いかがでしょうか。

○秋元委員　前管理者と引継ぎがうまくいっているのかなということと、初年度で成果が出ているなということは感じました。

○吉田部会長　前管理者も3期やって頂きましたので、決して悪いところばかりではなかったものの、目標を達成することへの意識が薄かったようなところがあり、交代となったように感じています。

追加で私から、事前質問をさせていただいていますが、7ページのアンケートを取っていないのではないかという話をしたら取られていたとのことです。なお、1月の満足度調査で、何件のアンケートが回収できたか把握されていらっしゃるでしょうか。

○筒井地域づくり支援室長　数としては1, 248件でございます。

○吉田部会長　ありがとうございます。

アンケートで選択項目の集計結果も重要ですが、フリーコメントも、部会でも拝見できると分かりやすいと思いますが、これは8ページの利用者の意見に集約されているという理解でよろしいですか。

○筒井地域づくり支援室長　はい、そうですね。

○吉田部会長　事業報告に、利用者ニーズの記載が若干少ないようです。ほかの施設の指定管理者の場合、事業報告にも利用者ニーズの集計や、それぞれの分析といったものも記載いただいていると認識しています。指定管理者自身がこのアンケートに対する分析とか、それをどう生かしていくかといったところも記載していただいた上で、市でも記載いただくといいのかなと思いました。アンケートに関しては、他の施設も管理されている管理者なので安心していただいていた部分ではあるのですが、少しその辺が足りていないのかなと感じました。その点はいかがでしょう。

○筒井地域づくり支援室長　おっしゃるとおり、主な意見とか苦情とか、そちらにアンケートの記載内容が入っているような形で作成したのですが、今回の評価シートを修正したほうがよろしいでしょうか。

○吉田部会長　次回以降でよろしいと思いますが、指定管理者がアンケートに対して自分たちはどう分析して、それに対してどうアクションを取ったのか、今後どう計画していくのかと、そういったところも事業報告には反映していただいたほうがいいというのが一つと、フリーコメントについても、我々委員には、そういったものがないと実情というの

が見づらい部分もありますので、ご意見を寄せられたのであれば、簡潔にさせていただくのはもちろんですが、なるべくお伝えいただけたらいいのかなと思いました。

○筒井地域づくり支援室長 分かりました。次回それを踏まえて作成させていただきます。

○吉田部会長 アンケートを取りましたという結果だけでは意味がないので、アンケートを取って、その結果をどう分析したのかというところまで踏み込んでいただけたらと思います。

はい、田部井委員、お願いいたします。

○田部井委員 確認なのですが、施設利用者数で、このスポーツ施設は体育館のみを指しているのでしょうか。

○筒井地域づくり支援室長 はい、おっしゃるとおりで、こちらは体育館だけになります。

○田部井委員 そうすると、体育館の利用が非常に伸びていると見受けられるのですが、先ほど見学いたしました、パンフレットも見ますと、行える種目が決まっています、この時間帯は卓球とバドミントンですというような制約があるようなのですが、それ以外で、何かただボールで遊びたいとか、そういうご要望があったりということは特にはないのですか。これでうまく回っているのであれば問題ないと思うのですが。

○筒井地域づくり支援室長 皆さんもう、こういうものだということで、あまりご意見としては上がってきておりません。あとはフリーという時間は設けてはいますが、そんなに利用者の数が多くはないということです。

○田部井委員 大勢でやるスポーツではないのにもかかわらず実績が伸びているということなので、これをもっと、ドッジボールであったりとか、バスケはゴールがないようにすけれど、そういうふう to 人数を増やすことが可能であれば、もっと伸びるのかなと思います。現状うまくいっているようですから、あまり強い意見というわけではないのですが、種目を限ったことによって何か弊害があるのであれば、フリーを増やすとか、見直すこともいいのかなと思いました。

○筒井地域づくり支援室長 ありがとうございます。指定管理者にも提案させていただきます。

○田部井委員 もう一つ別の項目で、資料3-1の総括評価の市による評価の中で「新規利用者の開拓に努めた」という記載がございまして、具体的にどういうことかといえ、おそらく絵本の読み聞かせや自主事業の積極的な展開というところになるのかなと思うのですが、そういうことでいいのですかね。

○筒井地域づくり支援室長 そうですね。この指定管理者になりまして、一番私たちが評価するところだと思っておりますのは、やはり自主事業を積極的に行っているところでございます。コミュニティセンターの利用者はサークルさんが一番多くなりますけれども、ふだんコミュニティセンターを利用していない方に、まずは1回来てもらおうという意味では、この自主事業をたくさんやっていただいて、例えば野菜の朝市とか、そういったものもやっているのですけど、そんなものだったら、サークル活動とか関係なくても、一度コミュニティセンターをのぞいてみるという方も増えると思います。近所の方にはポスティングとか、そういった広報活動も行っていますので、評価するところかと思っております。

○田部井委員　その自主事業等の情報発信は先ほども意見が出ていたかと思うのですが、アンケートのところを見ますと、利用頻度で定期利用が70%ということは、そうではない人が30%ほどという趣旨かなとは思いますが、その中で、「初めて利用しました」というような方は、非常にいい対象者なのではないかなと思います。例えば今後のアンケートにおいて、初めて利用した方は、どうして利用しようと思ったか、自主事業に魅力を感じて参加しましたとか、そういう具体的な意見があれば、そこに注力して実践すれば、より新規の利用者が増えていくという要因にもなるのかなと思います。常にいらっしやっている定期利用の人にアンケートを取ってもあまり意味がないかもしれないので、新しい利用者に、どうして利用したのかを聞くと、より良くなっていくと思いますので、そこは指定管理者の方がうまくやっているとありますが、そういったことも検討するといいいかなと思いました。

以上です。

○筒井地域づくり支援室長　ありがとうございます。実は、未利用者へのアンケートというのもご意見があってお伝えはしているところなのですが、まだ実施ができていないところもありましたので、それも併せてお話ししていきたいと思います。

○吉田部会長　私からまたよろしいでしょうか。サークルの高齢化という問題があったかと思います。閉鎖期間もあったので、サークルの活動がストップしてしまったものが戻ってこないとか、そういったお話も以前あったかと思うのですが、このコロナ禍での活動は、現状、既存のサークルは活動が再開できているのかという点と、新しいサークルが生まれないというお話も以前からあったので、その状況がどうなっているかについても教えてくださいいただけますか。

○筒井地域づくり支援室長　サークル数は減少傾向ではあるのですが、コロナでやめてしまったサークルなどもありまして、相殺になります。令和3年度に新規で設立したというか、新しくコミュニティセンターを使い始めたサークルは101件あったということです。

○吉田部会長　そんなにあったんですね。

○筒井地域づくり支援室長　はい、そのように聞いております。新設なのか、ここを新しく使い始めたのかはちょっと分からないのですけれども。

○吉田部会長　それでも、101件もあるんですね。皆さんがこのコミュニティセンターというのをどうとらえるか、このサークル活動がコミュニティセンターなのか、来るだけでも十分なのかという議論もありましたが、そういった皆さんの活動が続いていればとてもいいのかなと。サークルの登録は、このコロナの状況に皆さんが慣れていったところもあって増えたとか、何か要因はあったのでしょうか。特に近隣、先ほど穴川や千葉公園、これは体育館の話ですよ。コミュニティセンターとしては近隣での受入れということはないということで。

○筒井地域づくり支援室長　そうですね、コミュニティセンターは穴川ぐらいです。千葉公園体育館は体育施設だけになりますので、穴川コミュニティセンターの方が少し来られていたのか、新しい団体なのか。

○吉田部会長　今、サークルは何人以上でつくれるのですか。

○筒井地域づくり支援室長　人数の制限は特にありません。

○吉田部会長　　1人でもつくれてしまうと。

○筒井地域づくり支援室長　　そうですね、1人でも利用できてしまうのが現状です。

○吉田部会長　　そうなのですね。1人で利用したくて、サークルという形を取っていることも、その101件には含まれているということですかね。

○筒井地域づくり支援室長　　実際はいないですけど、サークルの登録は可能です。

○吉田部会長　　それなりにきちんと実態のある101件という認識でよろしいですか。

○筒井地域づくり支援室長　　そうですね。利用登録、今回、今年利用されている団体を数えています。

○吉田部会長　　ありがとうございます。

はい、平井委員、どうぞ。

○平井委員　　私も、先ほど他の委員さんが述べられていましたように、指定管理の1年目、コロナ禍で言いますと2年目ですね、その中であってこれだけの成果を上げたというのは、非常に努力をされたのだなと感じました。

その中でも自主事業の多様さというのは驚きました。自主事業というのは指定管理料に含まれない、本当に自主での展開ということで、その中であって、様々な世代に対するいろいろなものを取り上げているということに関しては、非常にすばらしいなど。やはり他の施設を運営しているという実績がそのようなところにつながったのかなと思った次第です。

また、今、サークルの話になっておりましたけれども、「事業報告書」の8ページに利用者サービス向上、稼働率向上のための工夫ということで、この1年間にわたってこういうことをやったということが述べられていますけれども、私がその中で目を引いたのは、サークル団体への支援ということで、サークル一覧表の配布と、その次に書いてある、サークル代表者会議の実施というのは、やはりこれは大きなメスになったのではないかなと思われました。横串を入れたという形で、そういう努力を感じた次第です。

また、この地域にある大学・短大、また高校への利用促進の働きかけということが書かれていましたけれども、確かに県立高校でいうと若松、千城台高校が近いのですけれども、同じ区内にある県立高校としては泉高校、あるいは千葉大宮高校という、これは通信制の高校ですけれども、若葉区内にはそういう高校もありますので、やはり等しく働きかけをしたら、また数の増員が見込めるのではないかなと思った次第です。

また、国の施策で、まだ決定事項ではありませんけれども、中学校の部活動について、土日の活動に限っては学校の先生が指導するのではなく民間委託へという方向で国が動き出したようなのですけれども、そういった国の施策にのったことというのをやっていく必要があるのではないかなと。

そんな中であって、たしか水曜日に1回、小・中学生に無料開放で体育館を使用させたというのが書いてありましたけれども、それなどはやはり、ここの施設に足を運んでもらう一つの要因にもなったと思いますし、そういった時間をこの施設で過ごさせるという形での今後の展開にもつながると思いましたので、それはすごくいい機会であったのではないかなと感じた次第です。

あと、もう一つは、利用者の増員ということでは、直近ではありませんけれども、千葉市では令和2年3月31日で千葉市中央区にありました、ことぶき大学校が閉じています。



その後2年間コロナ禍があつての令和4年ですけれど、中央区にあった学校ではありませんけれど、そこに行っていた方々の受け皿という意味でも、ひとつ検討してみたらいいのではないかなと思った次第です。

でも、本当にコロナ禍での、例えば机を拭くとか、そういうことが細かく書かれていますけれども、まさにそういったことが新しい生活様式というか、指定管理者に求められたときであつたと思いますけれども、それをしっかりやられて、こういう数字を出したことは立派だなと思います。

あと、関委員が言いましたように、自主事業に関してはこれだけのものを展開しているわけですから、うまくウェブページ等を活用したり冊子にしたりPRして、多くの人に足を運んでいただけたらと思った次第です。

以上です。

○吉田部会長      ありがとうございます。

資料3-5の15ページから17ページの自主事業がまとまっていますが、コロナの状況になって、皆さん、近場で安心・安全に出かけられる場所としてコミュニティセンターの自主事業を選ばれているのかなというのを参加人数から感じますね。

事務局として何か補足はありますか。

○筒井地域づくり支援室長      たくさんご提案いただきまして、ありがとうございます。千城台と都賀にコミュニティセンター2か所ありますけれども、特にエリア分けをしているわけではありませんので、おっしゃるように泉高校とか、大宮高校、今までターゲットにしていなかった部分があると思いますので、提案していきたいと思います。中学校の部活動のお話も、市としてもいろいろと考えていかなければいけないのですけれども、その受け皿にコミュニティセンターが少しでもできるのであれば、何か考えていければと思います。

ことぶき大学校の受け皿ということで、市の社会福祉協議会がやられていたものでしょうか。

○平井委員      はい。

○筒井地域づくり支援室長      様々な団体、大学を卒業した後もいろいろなサークルをつくって活動されているということも聞いています。若葉区内でもいろいろな同じ趣味を持った方々が集まって引き続き活動されていることも聞いていますので、そういった方にもつながるような取組みができるといいかなと思いますが、やはり若返りというところでは、デジタルを使ったPRというものが大事なかなと改めて思いましたので、そういったところを検討していきたいと思います。

○吉田部会長      では、追加で。自主事業の中で、夏休み期間中などの子どもたちの自習室開放というのは現状されていらないということでもいいですか。コミュニティセンターによっては、図書館も今、勉強や長時間の使用というのが難しく、家庭で環境を整えられる方はいいでしょうが、そうでない方に、そういった場所というものを提供されていらない指定管理者もいて、それは自主事業に入るのかなとは思いますが。今この辺に学校が多いという話もありましたので、そういった観点から提案をいただいてもいいのかなと思いました。

○筒井地域づくり支援室長      ありがとうございます。今、地域で子ども食堂を行ってい

る団体の方が、夏休み限定ではないのですが、月に1回、高校生とか中学生の居場所づくりみたいなものを今年になってから始めたりしまして、せっかく施設がもし空いているのであれば、そういうふうにご利用するのもいいと思います。

○平井委員　中高生の居場所カフェ「フリースペースW（わら）」も、ここで立ち上げたのですよね。それは、千葉市の社会福祉協議会の、地域福祉力アップ助成金を活用して、ここを借りて、それで大学生が展開しているというようですね。まさに居場所づくりということで、様々なそういう受け皿をつくるということは大切になっていますので、そういう意味では、これだけのすばらしい施設ですので、そういう活用は非常に望ましいと思います。

○吉田部会長　区役所の隣なので、親御さんからしても安心・安全なエリアにもなると思いますね。

○秋元委員　その辺のニーズはすごく高いですね。私は自治会館を提供して、子ども食堂を月1回、今テイクアウトのみですがやっています。1回、約200食くらい。今まで使ってこなかった、いろいろな使用の仕方みたいなものを検討していただくといいと思いますね。自主事業ね、私も出たいなというのがありますので。

○吉田部会長　自主事業をいろいろやりますとご提案があって、ご提案以上に実施されているのは本当によかったかなと思います。

関委員、どうぞ。

○関委員　先ほどのアンケートのところで気になったのですが、1月に全市統一で実施された。これは、同じ設問で、全コミュニティセンターに聞いたという意味合いですか。

○筒井地域づくり支援室長　そうです。こちらは全コミュニティセンター統一のものを実施しています。

○関委員　そうすると、例えば満足度などで、千葉市の平均というのは出されていらっしゃるのでしょうか。

○筒井地域づくり支援室長　そうですね、合計したものというデータは見たことはないのですが。

○関委員　例えば、「当センターに対する満足度」と示されているのですが、それがいいか悪いかというのは物差しがないと測れないのですよね。せっかく全コミュニティセンターで同じ質問をしているのであれば、千葉市の平均の満足度が出るはずなので、それに対して都賀コミュニティセンターが高いのか低いのか、そういうデータをお示ししていただくと、千葉市の平均より低いのであれば、どういうふうに改善したらいいのかということ、各委員の専門的なお立場からご助言できると思うので、そのあたり次年度以降のアンケート結果の示し方を工夫されてはいいかなと思います。

○吉田部会長　今、関委員に言われて、市民局の所管のコミュニティセンターに関しまして、確かに全庁的な評価というのをしていない、我々も伺ったことはないなと思いました。

○筒井地域づくり支援室長　もしかしたらあるのかもしれませんが、おっしゃるとおり、私たちがそういう数字をお示ししていなかったというところで、市民局にも提案してみます。ありがとうございます。

○吉田部会長　　そろそろ皆様、ご意見は出そろいましたでしょうか。評価として、今回、総括で「C」ということは、皆様、ご異議はないということでしょうか。

（異議なし）

○吉田部会長　　所見につきまして、稼働率について、コロナの中で十分頑張っている点を考慮すると、少し書きぶりが厳し過ぎるのを最終的には見直していただくものの、「C」という評価自体は、皆様、よろしいでしょうか。

（異議なし）

○吉田部会長　　ありがとうございました。

委員の皆様から様々な意見をいただきましたが、市の作成した評価案は妥当であるとさせていただきますと思います。

ただし、今申しましたように、所見の稼働率の部分につきましては、コロナの状況もありますので、もう少し指定管理者の頑張りを認めるような書き方がよろしいのではないかとさせていただきます。

また、施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等の主な意見といたしましては、今回、指定管理者が3期続いていた前指定管理者から変わったというところで、円滑に引継ぎを行いながら、初年度ながら魅力的な自主事業の実施など、独自色を出しつつ運営を行っている点は評価できる。

諸室の稼働率向上について、前指定管理者からするとかなり頑張っているものの、もともとの目標値がやや低めな設定ではあるので、新型コロナウイルスの影響がある中ではあるが、今後もより一層向上に向けて頑張ってください。

自主事業やサークルなどの情報発信に当たっては、ホームページが少し心許ない内容ではあるので、市民がホームページを見てもっと参加したいと思えるような内容、情報を適切に届けられるような工夫を検討していただきたい。

体育館の利用者数は目標を既に大きく上回っている点は大変評価できる。近隣に高校や大学などもあるので、学生たちの居場所づくりという観点も取り入れ、そういった若い世代の取り込みについても検討していただきたい。

アンケートの実施に当たっては、新規利用獲得につながるような質問方法、質問項目を見直すこと。また、アンケートについて、管理者自身がしっかりとまず分析をして、自分たちのアクションを考えていただくということで、事業報告に記載していただくようお願いしたい。

事務局、市民局への意見といたしましては、全市統一のアンケートを実施されているので、平均値を算出するなど、市全体での分析も行うべきではないか。

これらを、本部会の意見とすることでしょうか。

（異議なし）

○吉田部会長　　ありがとうございました。

次に、年度評価では、指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握することになっています。

これから計算書類等を基に指定管理者の財務状況等に関する意見交換を行うこととなりますが、一部の資料は一般には公開されていない法人等情報を含んでおり、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する不開示情報となりますので、同条例第25条ただし書の規定により、ここからの会議は非公開といたします。

傍聴人の方は、恐れ入りますが、一度退席をお願いいたします。

〔傍聴人 退室〕

○吉田部会長     それでは、公認会計士である私から、指定管理者の財務状況等に関して、計算書類等を基に意見を述べたいと思います。

（※財務状況等に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する情報（法人等情報）が含まれているため、表示していません。）

以上をもちまして、コロナ以前も十分に利益を獲得されておりましたし、今期も回復基調でございます。毎期一定に利益を積み上げており、財務状況や倒産リスクについて懸念事項はないと判断させていただければと思います。

ただいまの財務状況の意見について、委員の皆様から何かご質問等はございますでしょうか。

（なし）

○吉田部会長     では、財務状況につきまして本部会の意見といたしましては、毎期一定の利益を積み上げており、財務状況や倒産リスクについて、懸念事項はないということで判断させていただきたいと思います。

よろしいでしょうか。

（異議なし）

○吉田部会長     ありがとうございました。

それでは、これからの会議については公開といたします。傍聴人の方はいらっしゃいますか。

○地域づくり支援室職員     いらっしゃらないようです。

○吉田部会長     分かりました。

では、傍聴人の方はいらっしゃいませんので、このまま続けたいと思います。

それでは、これまでの意見を踏まえて、千葉市若葉区都賀コミュニティセンターの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見をまとめていくということになりますが、詳細につきましては私と事務局にて調整するということでご承認いただければと思います。よろしいでしょうか。

（異議なし）

○吉田部会長     以上で、議題2の「令和3年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について」の審議を終了します。

最後に、議題3の「その他」について、事務局から説明をお願いいたします。

○地域づくり支援室職員     それでは、今後の予定につきましてご説明させていただきます。

本日、委員の皆様よりいただきましたご意見等につきましては、吉田部会長から選定評価委員会の小野寺会長に報告をいただきまして、その後、小野寺会長から市長宛てに、委員会の意見として答申をしていただきます。

この委員会の答申を受けまして、市は、委員会のご意見を指定管理者年度評価シート、こちらの最後の部分になりますけれども、そちらに記載しまして、市ホームページに掲載し公表するとともに、指定管理者へ通知いたします。同様に、部会の会議録及び委員会会長からの答申につきましても、同じく市ホームページにて公表することとなっております。

公表の時期が決まりましたら、委員の皆様にはご報告させていただきます。

なお、本日の部会の会議録、こちらにつきましても、後日、委員の皆様にご確認をお願いしたいと考えておりますので、お願いいたします。

以上でございます。

○吉田部会長      ただいまの事務局からの説明について、何かご質問、ご意見はございますでしょうか。

(なし)

○吉田部会長      それでは最後に、全体を通して、委員の皆様からほかにご質問、ご意見等はございますか。

(なし)

○吉田部会長      では、皆様方のご協力によりまして、本日の議事はすべて終了いたしました。ありがとうございました。

それでは、事務局にお返しします。

○地域づくり支援室職員      皆様、慎重なご審議、ありがとうございました。

以上をもちまして、令和4年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回若葉区役所部会を閉会いたします。

委員の皆様、本日は、お忙しい中、ありがとうございました。